

身近な脳の病気「認知症」

お問合せ

保健福祉課 地域包括支援係 ☎ 0172 - 55 - 6569

2040年には65歳以上の約5人に1人が認知症を発症すると言われています。

「あれ？ちょっと変だな」は認知症のサインかも



身なりを気にしなくなった



今まで好きなことへの興味がなくなった



以前よりもひどく怒りっぽくなった



ものの名前が出てこなくなった



外出や人と会うことがおっくうになった



家事や仕事ができなくなってきた

このような行動が見られたら認知症の可能性がります。早めにご相談ください。

まずは
かかりつけ医に
相談



認知症は早期発見が肝心

早期発見のメリット

その1

早期に治療を開始することで認知機能の回復・維持が期待できる。

その2

進行を緩やかにし、生活の質を良い状態で保つことができる。

その3

事前に本人の意思を反映した様々な準備ができる。



上手に受診するために

○医師に伝えたいことは事前に書き留めておくこと。

いつから変化があったか、日や時間帯で症状が偏るか、既往歴・飲んでいる薬 など

○本人が受診をためらう場合は表現を工夫して受診のハードルを下げる。

「健康チェックに行こう」「何かの病気かもしれないから検査してみましょう」 など

認知症初期集中支援チームによるサポートを受けることもできます。

【サポート内容】

- ・認知症についての相談支援
- ・チーム員がご自宅を訪問し、安心して暮らすためのサポート
- チーム員：専門医、保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士